

極楽寺だより No.77

お念仏のふるさと浄土宗



白雲山
来迎院

極楽寺

西暦:2025年
佛歴:2565年
開創:447年(1577年開創)
浄土宗鎮西派

浄心会 (写経とお念仏の会) 通常毎月第2土曜日10時から
(3/8)・(4/12)・(5/10)



今日彼岸、菩提の種をまこうかな

彼岸法要

3月23日(日曜日)

10時より

春彼岸のこの日、西方十万億土の極楽浄土へ思いを寄せて、ご先祖を偲んで『仏説父母恩重経』を読んで塔婆のご回向をいたします。例年同様に法要後にはおはぎと粗供養をお持ち帰りいただきます。

◆当日塔婆回向を希望される方は同封のハガキに戒名などの必要事項を書いて3月18日(水)までにお申し込みください。塔婆代は振込又は当日受付にてお納めください。

◆聖観音菩薩の護符(おふだ)祈願法要

法要当日は式中に聖観音菩薩のおふだの祈願の受付いたします。ご祈願申し込みをされる方は当日受付にてお申し込みください。なお、遠方の方は塔婆申し込みはがきの端に「**ご祈願おふだ希望**」とお書きください。後日郵送にてお届けいたします。

(昨年までのおふだと交換をいたしますので忘れずにお持ちください)

浄焚供養式(おたきあげ)のご案内

極楽寺では1年間の塔婆や御札等を供養し浄焚(おたきあげ)致します。みなさまのご家庭やお仏壇、墓地にて塔婆・御札・仏壇を始めとして簡単には捨てられない手紙・人形・写真(遺影)ございましたら彼岸法要前日までに極楽寺までお持ちください。本堂裏の永代供養塔前にて読経、性根抜きの後、粗末にならないよう焼却致します。また役員の皆様の中で当日おたきあげのお手伝いをいただける方がいらっしゃいましたらお手伝いをよろしくお願いいたします。

◎持ってこれるもの

卒塔婆、位牌、仏具、使わなくなった経本、数珠、人形、御札、お守り、護符(神社やお稲荷さんも可)

(可燃物のみ・金物や燃えないものは取り除いてください)

日時: 3月23日(日曜日)

時間: 午後13時00分ごろ

※当日悪天候が予想される場合には翌日に行います。



彼岸塔婆回向の申込について

今回の寺報に同封されているハガキに戒名などの必要事項、申込者名を記名して郵送にてお申し込みください。塔婆代は1霊2,000円です。塔婆代は当日受付にてお納めください。遠方の方は現金書留か下記の口座へお振込みください

(塔婆代振込口座)

ゆうちょ銀行

店名 五一八 店番 518

口座番号: 5970282 口座名義: 極楽寺



発行元: 720-0838 広島県福山市瀬戸町山北740

電話: (084)951-2178 携帯080-3902-0030 (24時間対応)

E-mail: fukuyamagokurakuji2178@gmail.com

LINE: @gokurakuji2178

浄土宗のお仏壇の祀り方と教え②



お仏壇は極楽浄土の姿を現しています。ご家庭内において阿弥陀仏やご先祖様が見守り下さるお姿です。どうぞ1日に1度は手を合わせ心を養う習慣を身につけましょう。

今回はご本尊様(阿弥陀如来)と脇侍(法然上人と善導大師)について解説いたしました。今回はその続きです。

位牌と過去帳

位牌とは故人の戒名(法名)、俗名、歿年月日、行年が書かれている木の札

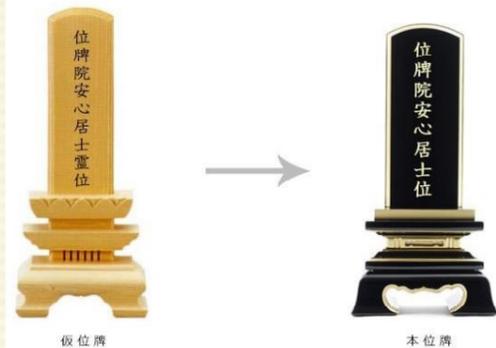
のことで、故人の霊魂が宿る場所とされています。ご本尊や脇侍と合わせて日々手を合わせて礼拝する対象です。ただ、多くの人が位牌として思い浮かべるのは、黒塗り(漆塗り)のものでしょう。実は位牌にはその他にも白木位牌、本位牌といった種類があります。位牌の種類について紹介しますので、それぞれの特徴を理解しておきましょう。

(白木位牌) 白木位牌は、お葬儀から四十九日の法要まで用いる位牌で、仮位牌(かりいはい)ともいわれます。白木位牌は、仏壇ではなく葬儀の後ご自宅に葬儀屋さんによって作られる仮祭壇に四十九日まで安置します。そして、四十九日の法要が終わったら、本位牌へ性根移し白木位牌は菩提寺に納めます。(極楽寺ではお施餓鬼法要にて初盆回向をし、翌春の彼岸後にお焚き上げをしております。)

(本位牌) 本位牌は、四十九日法要後から仏壇に安置される正式な位牌です。

本位牌は文字入れなど、作成には時間がかかりますので早めに手配して四十九日の法要に間に合うように注文しましょう。また本位牌には、四十九日の法要で菩提寺の住職に「開眼供養」(魂入れ・性根入れ)を執り行いましょう。

この儀式を終えると、本位牌はただの木の札から故人の魂が宿ったお位牌に変わります。一般的に位牌だけを安置することはないので、仏壇がないご家庭は仏壇をいっしょに用意致しましょう。(つづく)



授戒会のご案内

申込締め切り迫る!!

1、日時: 令和7年5月3日(土祝) ~ 5月5日(月祝)まで3日間

2、冥加料(参加費) 1名 五万円

(参加費の中に伝巻・浄衣・袈裟・念珠・昼食代を含む)

※申込書とお金を添えて極楽寺までお申し込みください。

3、贈授戒: 冥加料は1霊につき3万円

4、常回向: 冥加料は1霊につき1万円

※申込締切は3月23日(日)春彼岸法要までです



※お配りした授戒入行申込書にてお申し込みください

※写真は平28年の五重相伝の様子です



第2回(10巡目)法然上人二十五霊場めぐり

(日時) 5月19日(月) ~ 20日(火) 1泊2日

今年も広島教区東部組ではご遺跡参拝「法然上人二十五霊場めぐり」を計画いたしました。

第2回は京都編、清水寺や嵯峨 二尊院など6ヶ寺へお参りいたします。嵐山渡月橋や嵐山観光などもお楽しみいただけます。また普段の旅行では中々ご覧にならない場所や詳しい説明もしていただけます。どうぞこれを機に法然上人の霊場に参拝し、法然上人の思いに触れてみませんか?初めての方でも大歓迎です。旅行の費用や工程については同封の団体参拝の用紙をご覧ください。

また、彼岸法要にて詳細なご説明をさせていただきます。

